
墓前

煌

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

墓前

【コード】

N1870F

【作者名】

煌

【あらすじ】

雨が降っている。灰色の世界に白く浮かび上がる、命無き者たちの、十字架…

『墓前』

雨が、降っている。

灰色の空の下に立つ

真っ白な十字架。

私の知らない人生を送り、

私の知らない所で死んだ、

私の知らない人達の墓前を

私は歩いていく。

花の飾られた墓もあれば、

朽ち果て、荒れた墓もある

それはその人が愛された証

それはサヨナラを言われた

哀しいく愛>カナ<しい証

白い聖域を進んでゆけば、

貴方が眠る、棺がある。

貴方の最後は悲しくて

貴方の最後は苦しくて

私の胸に穴を残した。

それでも貴方の最後は

優しくて、

眩しくて、

温かで、

愛しくて。

思い出すそれは過去の事で

今を生きる私には

重すぎて、

苦しくて、

泣きたくて

私の周りに、

泣けなかった私の代わりにとでも言っようした

雨が降る。

色とりどりの造花>ハナ<で飾った、

花飾りを十字架にかける。

命無き者の為の十字架に

生きてるフリをする造花>ハナ<

それがなんだか滑稽で、

私は思わず吹き出した。

ごめんね、貴方を笑った訳じゃないの。

なんて誤魔化してみたりするけど

これを選んだのは私。

何回も来るのは辛いから、

貴方が愛されてるって、

思わせてね。

私の、

(後書き)

この度は『墓前』を読んで下さり、ありがとうございました。煌と申します。　これを書いていて、「かなしい」と書いて、「愛しい」と読む事を初めて知りました《笑　これからも、どうぞよろしくお願いします。OTL

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1870f/>

墓前

2011年1月16日09時56分発行